

この1年を振り返って

京都府中学校体育連盟
会長 野川 晋司

令和5年度の「京都府中学校体育連盟報告書」が発行される運びとなりました。本年度も、京都府中学校体育連盟の諸事業に対しまして、皆様方から多くの御指導と御支援を賜り、誠にありがとうございました。

本年度も各役員及び理事・各専門部の部長・専門委員長・専門委員の先生方には、競技運営等に御尽力いただき各事業を無事に終わることができました。特に京都府中学校総合体育大会では、新型コロナウイルス感染症が第5類へ移行されたことを受け、4年ぶりに大きな制限を設けず、大会を開催しました。選手たちは観客のたくさんの声援を受け、日頃の練習の集大成を披露することができました。また、令和5年度より、全国中学校体育大会において地域クラブ活動の参加が認められることとなり、京都府総体においても、地域クラブ活動の参加が認めれました。中学校部活動の大会であるということを踏まえ、課題も多く、規定等、検討に検討を重ねている状況ではありますが、新たな一步を踏み出すことができました。

8月下旬に行われた全国中学校体育大会では、団体において京都精華中学校女子バスケットボール部が優勝など、5種目で7団体が入賞を果たしました。また、個人では、京都光華中学校女子4×100mリレーでの優勝をはじめ、3種目で14名が入賞を果たしました。さらに、全国中学校駅伝大会では、城陽市立南城陽中学校女子が4位の好成績を収め、個人では、区間賞1名をはじめ、3名が入賞を果たしました。冬季大会（スキー、スケート）では、スケート女子の部において、宇治市立広野中学校の女子の4位で入賞を果たしました。

さて、令和5年度は、本連盟にとって、大きな1年であり、「令和5年度第40回記念大会（公財）日本中学校体育連盟研究大会京都大会」が1月に京都市のANAクラウンプラザホテル京都で開催されました。令和3年度の準備委員会から始まり、準備を進めて参りました。部活動や中体連に携わる多くの方々が全国から集まり、講演、シンポジウム、分科会に参加し、有意義な時間を過ごしました。また、研究大会直前である令和6年1月1日に起こった「令和6年能登半島地震」の義援金活動についても多数の御協力を得ることができました。改めて、皆様の御協力と御理解あってこそその研究大会であったと感じました。

本連盟の主催事業については、今回で11回目を迎えるコーチングセミナー全体講義は、各校の顧問の先生や外部コーチの方々が安心・安全かつ効果的に指導に携われるように専門的な視点から実技を含む講義を受けました。

しかしながら、部活動の地域移行、教師の働き方改革等によって、学校部活動においては、過渡期を迎え、課題は山積みです。生徒や保護者と近い存在である部活動指導者の皆様には、課題と向き合い、様々な工夫等により、持続可能な部活動へ御尽力いただきましたことについて、感謝申し上げます。

後になりましたが、「京都府中学校体育連盟報告書」の編集に御協力いただきました関係者の皆様方、日頃から本連盟の活動に対して御理解・御協力いただきました皆様方、そして、御指導・御支援を賜りました京都府教育委員会・京都市教育委員会・各市町（広域連合）教育委員会・（公財）京都府スポーツ協会・関係諸団体の皆様に心から御礼申し上げ挨拶とさせていただきます。